

「八代海再生プロジェクト」が進んでいます

有明海の再生に関しては、国や県等の行政機関を中心に数多くの調査・事業が行われており、熊本大学でも沿岸域センターを中心に科学技術振興調整費による「有明海再生の調査や実証試験」を平成17～21年の5カ年間実施し大いに成果を挙げてきております。一方、八代海については環境悪化が著しいにも関わらず、これまで総合的・系統的な調査・研究が殆ど行われてきておりませんでした。この“八代海”を再生するための研究プロジェクト「生物多様性のある八代海沿岸海域環境の俯瞰型再生研究プロジェクト」が、文部科学省の特別経費で平成23年度から5カ年間の計画で、滝川教授をリーダーとして沿岸域センターの教職員を中心としたスタッフで鋭意、進められています。

○キックオフ・シンポジウムの開催

平成23年9月10日(土)、やつしろハーモニーホールを会場に、“八代海の再生をめざして”のタイトルのもと、本研究プロジェクトのキックオフ・シンポジウムを開催しました。4つの招待講演が行われ、まず、「八代海再生への思い」の題目で大村哲夫氏(みなと総合研究財団理事長、元第四港湾建設局水保分室長)の講演、次に、「海辺の自然再生の目指すところ」の題目で木村尚氏(NPO法人海辺づくり研究会理事・事務局長で現在、日本テレビ系「ザ・鉄腕ダッシュ：ダッシュ海岸をつくりたい」に出演中)によるユーモアたっぷりのお話をいただきました。続いて、「八代海再生に向けた地域住民の取り組み」の題目で、上久保祐志氏(やつしろ里海ネット代表、熊本高専准教授)・梅田和弘氏(元芦北高校教諭)・中村秀徳氏(不知火地区漁業士会会長)から再生への取組みの実例報告があり、また、「八代海を豊かにする社会システム」の題目で難波喬司氏(国土交通省九州地方整備局副局長)の貴重な講演がありました。最後に「八代海の俯瞰型再生研究プロジェクト」と題して滝川教授から本プロジェクトの紹介がありました。約250名もの来場者があり、活発な質問・意見等が交わされ、関心の深さとプロジェクトへの期待の大きさに溢れた大盛況のシンポジウムとなりました。

○研究成果発表会の開催

平成24年1月29日(日)、熊本大学工学部百周年記念館で“八代海の再生をめざして～第2回シンポジウム～”を開催しました。23年度の4月から取り組んで来た研究の具体的内容の紹介と研究成果の発表会を兼ねて行ったものです。研究は大きく4つの分野、①再生技術の開発と実証、②環境変動の評価と予測手法の開発、③八代海沿岸域における社会・自然環境の把握と未知事象の解明(3.1沿岸及び海域環境の把握、3.2未知事象の解明)、④地域ごとの再生策の検討及び環境と防災の調和した八代海の再生・創成方策の4分野にわたり全体では14テーマから構成されています。当日は、この14テーマの研究内容とこれまでの成果および今後の方針についての発表が行われました。専門性の高い内容で、非常に広範囲の分野にわたる盛り沢山の発表会でしたが、分かり易く研究プロジェクトの全体構成が把握できた有意義なシンポジウムとなりました。休日にもかかわらず遠路からの参加者を含め約80名の方々のご参加をいただきました。

八代海再生に強い熱意をもってスタッフ一同取り組んでおります。今後とも皆さまのご協力・ご支援の程よろしくお願い申し上げます。なお研究成果は随時、下記のホームページに掲載しておりますので、是非ご覧いただきたく、ご案内致します。

http://accafe.jp/kumamoto_u_yatsushiro/

